



宝塚市立男女共同参画センター・エル 令和6年(2024年)度 エル・シネマ

毎年3月8日の国際女性デーを記念して行っている、エルの映画イベント



# かづる

BEING KAZUE

できるんよ、やろうと思えば

監督：熊谷博子

ナレーション：斉藤とも子

撮影：中島広城 録音：奥井義哉 助監督：土井かやの  
編集：大橋富代 映像技術：柳生俊一 整音：小長谷啓太  
音楽：黒田京子 宣伝美術：安倍大智

配給協力：ボレボレ東中野 宣伝：きろくびと

協力：国立療養所 長島愛生園

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)

スポンサー 独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 菅川保徳財団

製作・配給：オフィス熊谷

2023年 | 日本 | 119分 | DCP | ドキュメンタリー

©Office Kumagai 2023

beingkazue.com  
OFFICE  
KUMAGAI

[2023年 / 日本 / 119分 ドキュメンタリー]

© Office Kumagai 2023

# 映画上映&監督トーク

無料

令和7年

3月8日(土)

映画 10時〜12時

熊谷博子監督トーク

※各回15分前開場

12時15分〜45分

自由席

要予約

会場

宝塚市立男女共同参画センター

宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階  
JR/阪急宝塚駅すぐ

定員 40名

保育 10名 (1歳〜就学前まで)

※2/28(金)までに要予約

申込

2月3日(月) 9:00 ~ 先着順 電話または窓口 センターHPで受付

※お申込みは、同時に2名様までとさせていただきます(第2日曜休館)



イベント  
QRコード

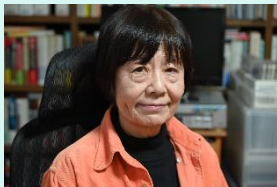


0797-86-4006

主催 宝塚市立男女共同参画センター・エル 指定管理者 NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

※申込みにあたってお預かりする個人情報は、本イベント以外の目的で使用することはありません。

## <監督トーク>



くまがい ひろこ  
熊谷 博子 監督

## プロフィール

東京都出身。1975年より番組制作会社のディレクターとして、戦争、原爆、麻薬などの社会問題を追ったドキュメンタリーを多数制作。85年にフリーの映像ジャーナリストに。自身の子育て体験から生まれた『ふれあうまち』(1995)。『映画をつくる女性たち』(2004)。『三池 終わらない炭鉱(やま)の物語』(2005)でJCJ(日本ジャーナリスト会議)特別賞、日本映画復興奨励賞を受賞。NHK・ETV特集『三池を抱きしめる女たち』(2013)で、放送文化基金賞最優秀賞・個人賞、地方の時代映像祭奨励賞を受賞。NHK・ETV特集『原爆にさわる 被爆をつなぐ』(2015)。『作兵衛さんと日本を掘る』(2018)は、キネマ旬報文化映画ベスト10。



© Office Kumagai 2023

## 「私、みんな受けとめて、逃げなかった。」

瀬戸内海にある国立ハンセン病療養所、長島愛生園。

宮崎かづゑさんは10歳で入所してから約80年、ずっとこの島で生きてきた。病気の影響で手の指や足を切断、視力もほとんど残っていない。それでも、買い物や料理など、周囲の手を借りながらも自分で行く。

「本当のらい患者の感情、飾っていない患者生活を残したいんです。らいだけに負けてなんかいませんよ」と力強く語るかづゑさん。患者同士のいじめに遭い、つらかった子ども時代。家族の愛情と、たくさんの愛読書が、絶望の淵から引き上げてくれた。

そして夫の孝行さんと出会い、海沿いの夫婦寮で自然とともに暮らしてきた。

78歳のときにパソコンを覚え、84歳になって初の著書となる『長い道』(みすず書房)を出版。類まれな表現力で日常を瑞々しく綴り、版を重ねている。

## 90歳も半ばになったかづゑさんは言う、「できるんよ、やろうと思えば」

### かづゑさんの人生に伴走した8年間



主催 宝塚市立男女共同参画センター・エル

指定管理者 NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西



H P

電話：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424 ホームページ <https://www.takarazuka-ell.jp/>

※駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

